



Yochu-JUMP

第3号



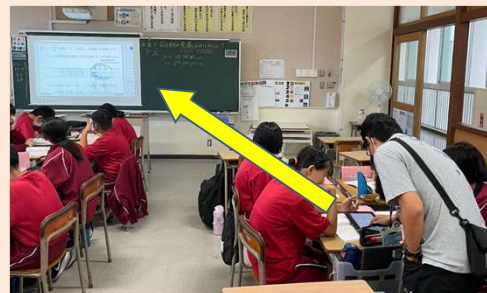
与那原中学校 (Y) 授業力 (J) アップ (Up) 元気 (Moxie) プロジェクト (P) R5.11.14発行

第1号が最終号にならないように…と頑張っていますが、なんとか第3号まで発行できました。記事のネタ（先生方の素晴らしい実践事例）は豊富なので、私の努力次第ですね。皆さんに負けないように頑張ります！今回も3人の先生方の実践を紹介します。

フットワークの軽さを生かした数学LIVE！

祐之先生の授業を参観して驚いたのは、教壇に立たずに、フロア（生徒のそば）から遠隔で説明していることです。ひとりの生徒と一緒に問題の解き方をタブレットの画面に書き込みながら考えていく様子を、前方のスクリーンに映し出しながら進めていく手法はとても斬新でした。その後も、教室内を移動しながら、**生徒に寄り添って学びを支援している姿**は、どのような仕事もフットワーク軽く引き受けて対応してくれる普段の祐之先生の良さを存分に生かした指導法だと思います。また、授業の後半では、グループを協力して問題に取り組ませるなど、様々な工夫が見られる授業でした。

数学科 島崎 祐之 先生

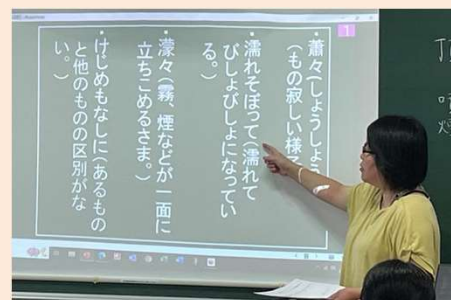


入念な準備と丁寧な指導で言葉の魅力を伝える

詩を教材にしたすみれ先生の授業を参観させていただきました。難しい表現が使われていた詩でしたが、**事前に用意したスライド**でその意味を丁寧に説明しています。そのおかげで生徒は詩の世界を味わうことができ、「響きから寂しさを感じる」「変わらない情景を表現している」「事実の表現と作者の考え・感想の部分がある」などの感想や気づきが生徒から聞かれました。

「**良いところに気がついたね**」という言葉かけも生徒の**自己肯定感を高め**、学習意欲の喚起につながるのだと感じます。いつも丁寧な授業の準備とご指導をありがとうございます。

国語科 山内 すみれ 先生



興味をひく課題 × 黒板の活用で理解度アップ↑

生徒指導担当で普段は授業を持たない明仁先生ですが、補欠授業でもしっかりと指導力を発揮しています。数学で学んだ相似を利用して木と木の距離を測るという問題でしたが、**プロジェクターの画像を黒板に映す**という離れ技？で、図に直接書き込みながら説明しています。このような黒板の使い方があるのかと感心しました。

実際の測量の方法にも関係してくる課題を設定することで、先人の知恵に関心しつつ、**深い学びにもつながる**楽しい授業業でした。

数学科 新垣 明仁 先生



フキッと DTK 道徳の授業で使えるような話題（歌・言葉・本など）を紹介します！



The meaning of life is
to give life meaning.

ケン・ハディンズ/アメリカの映画俳優

生命に関する名言はたくさんありますが、どの言葉も「生命を大切に作る＝生きる」ことを伝えていますが、この言葉は「人生の意味とは命に意味を与えることである」と訳され、自分がどう生きるべきかという問いに対する答えのひとつとして示すことができるかもしれません。また、このような英文で名言を紹介するという少しの工夫も、生徒の興味を高めたり、学びのきっかけになるかもしれませんね。英語科と協力して探してみましよう。